１０月８日（木）　避難訓練（地震発生を想定して）

大きな地震の経験が少ない長崎市も、７月２８日の熊本南部地震では大きな揺れを経験しました。長崎市が経験した震度４は、室内の物が落下する危険がある揺れです。

今回は、地震発生を想定した避難訓練を行いました。

避難訓練の前には、事前に自信の場合の避難について、動画を視聴し、火災や大雨による避難との違いを子供たちは理解しました。

その後、地震アラートが鳴り、大きな地震の揺れの予想が出されたところから避難訓練は始まりました。子供たちは放送を聞き、まずは自身の身を守るために机の下に身を潜めました。その後、揺れが収まり、避難通路の安全の確認ができてから運動場へ避難しました。

今回は、東階段が崩壊したという設定でした。通常の避難経路が一つ塞がったことになるので、どんな避難ができるのか判断をする必要があります。東校舎にいる２年生と４年生は、通常の避難経路を避け、込み合わないように中央階段や南階段の選択をしながら避難を行いました。想定よりも短い時間で全員の避難を確認することができました。

本当に大きな地震があった場合は、みんなが安全に避難できるように、その場で判断しなければならないことが想定されます。今回のような訓練を実のあるものにしていきたいと思います。子供たちは、火災とは違う避難訓練の内容を理解し、しっかりと考えて行動できました。























